

<p>斎藤寅次郎 YOSHINOBU SAITO</p>  <p>「少年」 1942年 油彩 100×100cm</p>	<p>蛭田均 HIROHITO HIRATA</p>  <p>「女」 1942年 油彩 100×100cm</p>	<p>山本幸雄 YUKIO YAMAMOTO</p>  <p>「女」 1942年 油彩 100×100cm</p>
<p>山本幸雄 YUKIO YAMAMOTO</p>  <p>「観音」 1942年 油彩 100×100cm</p>	<p>蝦名協子 KANAE NO ME</p>  <p>「女」 1942年 油彩 100×100cm</p>	<p>「人間は誰か」 1942年 油彩 100×100cm</p> <p>「人間は誰か」 1942年 油彩 100×100cm</p>

2020.3.9-3.15 AKANE art gallery

<p>斎藤寅次郎 YOSHINOBU SAITO</p>  <p>「少年」 1942年 油彩 100×100cm</p>	<p>蝦名協子 KANAE NO ME</p>  <p>「女」 1942年 油彩 100×100cm</p>	<p>山本幸雄 YUKIO YAMAMOTO</p>  <p>「観音」 1942年 油彩 100×100cm</p>
<p>山本幸雄 YUKIO YAMAMOTO</p>  <p>「女」 1942年 油彩 100×100cm</p>	<p>蛭田均 HIROHITO HIRATA</p>  <p>「女」 1942年 油彩 100×100cm</p>	<p>「人間は誰か」 1942年 油彩 100×100cm</p> <p>「人間は誰か」 1942年 油彩 100×100cm</p>

2019.3.11-3.17 AKANE art gallery 2019.3.21-3.26 

<p>斎藤寅次郎 YOSHINOBU SAITO</p>  <p>「少年」 1942年 油彩 100×100cm</p>	<p>山本幸雄 YUKIO YAMAMOTO</p>  <p>「観音」 1942年 油彩 100×100cm</p>	<p>蝦名協子 KANAE NO ME</p>  <p>「女」 1942年 油彩 100×100cm</p>
<p>山本幸雄 YUKIO YAMAMOTO</p>  <p>「女」 1942年 油彩 100×100cm</p>	<p>蛭田均 HIROHITO HIRATA</p>  <p>「女」 1942年 油彩 100×100cm</p>	<p>「人間は誰か」 1942年 油彩 100×100cm</p> <p>「人間は誰か」 1942年 油彩 100×100cm</p>

2018.3.12-3.18 AKANE art gallery 2018.3.22-3.27 

<p>蛭田均 HIROHITO HIRATA</p>  <p>「女」 1942年 油彩 100×100cm</p>	<p>斎藤寅次郎 YOSHINOBU SAITO</p>  <p>「少年」 1942年 油彩 100×100cm</p>	<p>蝦名協子 KANAE NO ME</p>  <p>「女」 1942年 油彩 100×100cm</p>
<p>山本幸雄 YUKIO YAMAMOTO</p>  <p>「観音」 1942年 油彩 100×100cm</p>	<p>山本幸雄 YUKIO YAMAMOTO</p>  <p>「女」 1942年 油彩 100×100cm</p>	<p>「人間は誰か」 1942年 油彩 100×100cm</p> <p>「人間は誰か」 1942年 油彩 100×100cm</p>

2021.3.8-3.14 AKANE art gallery

<p>斎藤寅次郎 YOSHINOBU SAITO</p>  <p>「少年」 1942年 油彩 100×100cm</p>	<p>山本幸雄 YUKIO YAMAMOTO</p>  <p>「女」 1942年 油彩 100×100cm</p>	<p>山本幸雄 YUKIO YAMAMOTO</p>  <p>「観音」 1942年 油彩 100×100cm</p>
<p>蛭田均 HIROHITO HIRATA</p>  <p>「女」 1942年 油彩 100×100cm</p>	<p>蝦名協子 KANAE NO ME</p>  <p>「女」 1942年 油彩 100×100cm</p>	<p>「人間は誰か」 1942年 油彩 100×100cm</p> <p>「人間は誰か」 1942年 油彩 100×100cm</p>

2022.3.7-3.13 AKANE art gallery

KANAE NO ME 視点<鼎の眼>展

2023年3月6日(月)ー3月12日(日)
11:00AM-6:30PM(最終日5:00PM)



あかね画廊

東京都中央区銀座4-3-14 筑波ビル2F
〒104-0061 TEL&FAX:03-3561-4930
<https://akane-asst.wixsite.com/web-site>



KANAE NO ME 視点<鼎の眼>展

蝦名協子
斎藤寅彦
蛭田均
山本靖久
山本幸雄

企画・コーディネイト
中野中

2023.3.6-3.12
AKANE art gallery



1947 兵庫県に生まれる／1970 川田茂に師事 元新美術会会員／1978 二元会出品 会員推挙／1979 二元会奨励賞／1980 二元会賞／1983～85 渡米／1992 鈴木賞／1993 桂冠賞・委員に推挙／1997 内閣総理大臣賞 常任委員推挙／2004 東京銀座田中ギャラリーにて個展／2008 ギャラリー大井にて二元会五人展、ギャラリー大井にて個展、神戸そごうギャラリーにて個展、2011 銀座 あかね画廊・大津ギャラリー唐橋 視点<鼎の眼>展(以降毎年出品)、神戸そごうギャラリーにて個展、2012 近鉄上本町ギャラリーにて個展、2013 ギャラリー大井にて個展、神戸そごうギャラリーにて個展、2015 あべのハルカスにて個展、神戸そごうギャラリーにて個展、2017 神戸そごうギャラリーにて個展、2019 神戸阪急 美術画廊にて個展、2021 神戸阪急にて個展、現在 二元会会長、日本美術家連盟会員、朝日カルチャーセンター講師、生活協同組合 コープこうべ生活文化センター講師

「ドーハの歓喜(未完) 油彩 162×114 cm



「人・願望」油彩、キャンバス F30号

1945 札幌市生まれ／1969 東京芸術大学 油画科卒業／1971 同大学院修了／1973 国画会 新人賞受賞／1976 個展(みゆき画廊 東京) 80・85にも出品／1981 国画会会員推挙／1986 個展(美術ジャーナル画廊) 88・94・97にも出品／1987 個展(札幌三越) 95・99にも出品／1990 昭和会展招待出品(日動画廊 東京)、キリスト教美術展招待出品 以後毎年出品／2002 個展(ギャラリー・向日葵) 06・09・16・21にも出品／2003 Asian Art Now Prize Award (ラスベガス美術館 アメリカ) 01・02／2009 中野中企画 30人の自画像(東京、地方巡回)／2013 個展(ギャラリーあづま)／2014 視点<鼎の眼>展(あかね画廊、ギャラリー唐橋) 15～22／2016 90 回記念国展(90vs90+ 展)、第40 回記念キリスト教美術展(関西学院大学博物館 西宮市)／現在 国画会会員、日本美術家連盟会員、キリスト教美術協会会員、朝日カルチャー講師



「紅のまなざし」油彩 F10号

1957 栃木県に生まれる／1979 嵯峨美術短期大学卒業／1999 文化庁在外研修員としてパリに留学(99.9～00.9)／〔展覧会歴〕1991 安井賞展(セゾン美術館他 93・95)／1993 IMA「絵画の今日」展(新宿三越美術館 95・97)／1994 個展(あかね画廊、東京)／1995 個展(日本橋三越本店、東京 02)／1998 個展(高島屋、京都 01・06)／2000 個展(ギャラリーエディエンストゥウコウザン、パリ)／2003 DOMANI・明日展(横浜ジャパン東郷青児美術館、東京)／2005 日動展(日動画廊、東京以後毎年)／2006 個展(高島屋、横浜)／2007 旅展(文化庁主催国立新美術館)、昭和会賞受賞記念個展(日動画廊、東京)／2015 個展(あべのハルカス近鉄本店)／〔受賞〕1987 新制作展 新作家賞(88・90・91)／1991 伊藤康記念賞 賞候補(名古屋日動画廊)／1994 京都市芸術新人賞、ミヤコ版画賞展 都賞(都画廊、大阪)／1995 前田寛治大賞展 進大賞(倉吉博物館、日本橋高島屋)／2005 昭和会賞 昭和会賞(日動画廊、東京)／現在 新制作協会会員



「冬凧」カゼインテンペラ、アクリル、金箔、銀箔、越前麻紙、綿布、板 53×45.5 cm

1963 神奈川県に生まれる／1987 主体展佳作作家、同89 会員推挙／1989 武蔵野美術大学大学院修士課程修了 修了制作優秀賞、上野の森美術館大賞展賞候補、銀座大賞展 大賞／1990 安井賞展 同92・93、神奈川県美術展 大賞／1993 昭和会展、文化庁芸術インテナーシップ研修員 94、東京セントラル美術館油絵大賞展招待出品 佳作賞／1995 文化庁現代美術選抜美術展(浦添市美術館他巡回)／1998 前田寛治大賞展、日本現代作家作品展(上海美術館 中国)／1999 主体展 安田火災美術財団奨励賞／2004 上海春季芸術沙龍(上海国際展覧中心 中国)／2010 ストーリー・テラズ 小説と絵画展(高島屋東京 名古屋 横浜)／2012 紀伊國屋シリーズ 個展(紀伊國屋画廊)／2016 ART EXPRESS JAPAN (G・ARTS GALLERY シドニー)、北海道現代具象展招待出品(北海道立近代美術館他)同12・16／2017 夢想と断想のイマージュ(Bunkamura Gallery)／2018 日本ガラス絵協会展 出品～23／あかね画廊、ギャラリーアルトン、四季彩舎、色彩美術館、日本橋三越などで個展47回開催、グループ展多数／現在 主体美術協会会員、日本美術家連盟会員、日本ガラス絵協会会員、武蔵野美術大学教授



「時の跡・青年」パネル、ミクストメディア 134×60.5 cm

1950 秋田県に生まれる／1973 旺玄展 初出品 新人賞 以後連続出品(牧野賞、旺玄会賞、文部大臣奨励賞、他受賞)／1974 玉之内清雄に師事／1981 第24回安井賞展(84・90)、第1回東京セントラル油絵大賞展(83)／1983 第18回昭和会展招待出品(85・87・89)／1984 第1回浅井忠記念賞展 優秀賞受賞／1989 第19回現代日本美術展(92)、第1回ジャパン大賞展 佳作賞／1997 第16回安田火災美術財団奨励賞 新作秀作賞／2007 第8回小磯良平大賞展／2009 中野中氏企画30人の自画像展(東京高輪画廊、他巡回)／2012 公募団体ベストセレクション美術2012(東京都美術館企画)／2013 第10回熊谷守一大賞展 賞候補／2015 我が心の旅路展(16～19)／2015 龍山美術館コンクール審査担当(16～19)／2016 秋田県立近代美術館主催2016コレクション展 第1期 斎藤寅彦「時の跡」／2017 視点<鼎の眼>展 あかね画廊、ギャラリー唐橋(18～22)／2021 ギャラリームサシ企画個展／現在 一般社団法人旺玄会常任委員、日本美術家連盟会員、千葉県美術会常任理事、朝日カルチャー講師

<人間>ほど面白いものはない

企画・コーディネイト 中野中

<人間>を描く。それがこの企画展のテーマである。
<人間>ほど興味尽きない面白いものはないからである。
肉体があり心がある。すべてを包みこむ身体は見えるが、その内側は見えない。しかし、身体のある表情を通して垣間見え、感じることは出来る。そこにモチーフと描き手の対話が生まれ、格闘することになる。その格闘の痕跡がキャンパスに残される。それが作品である。

ことしはどんな作品に出遭えるであろうか。

(美術評論家)